

会計名			市民相談事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹		
2	1	15					作成者	杉山 能啓		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			主たる内容	市民相談に関する各種事業を行う。 (一般相談、弁護士相談、交通事故相談、登記・境界・測量・許認可等相談、年金・労務相談、消費生活相談、司法書士相談、労働相談、行政相談)			
		基本施策	市民生活							
		施策の内容	市民相談の充実							
	目的	市民を対象に生活上生じる様々な問題の解決を図るため。								
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民		事業期間	~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		相談件数	1,549件	相談件数	1,517件	相談件数	1,558件	弁護士(週2回)3人 市民相談員 2人 交通事故相談員 1人 消費生活相談員 1人		
内訳			内訳		内訳					
一般相談		723件	一般相談	691件	一般相談	759件				
弁護士相談		537件	弁護士相談	534件	弁護士相談	524件				
交通事故相談		141件	交通事故相談	136件	交通事故相談	124件				
登記境界相談		23件	登記境界相談	24件	登記境界相談	18件				
年金労務相談		7件	年金労務相談	6件	年金労務相談	5件				
消費生活相談		51件	消費生活相談	43件	消費生活相談	48件				
司法書士相談		64件	司法書士相談	78件	司法書士相談	70件				
その他相談	3件	その他相談	5件	その他相談	10件					
成果 (できたこと)	市民の悩み解消と諸問題の早期解決の促進を図り、市民サービスの向上ができた。									
課題 (できなかったこと)	弁護士相談の予約が多いため、より多くの市民に早期かつ公平に相談を受けることができるように、弁護士相談回数を増やして相談体制の充実を図る必要がある。									
指標名称(単位)					実績値		目標値			
					21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標	専門の相談員による相談可能回数の増加(回)				1,125	1,137	1,135	1,120	1,260	
成果指標	相談を受けた満足度(%) (各種市民)				-	-	-	100.0	100.0	
他市との比較検証	・弁護士による法律相談や交通事故相談については、開催回数は近隣市に比べて多いため、他市よりは市民サービスの充実が図れている。 ・相談業務の種類は近隣市の中でも多い方であるため、比較的充実している。									
C 事業 コスト V	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳			
	事業費 ①		9,586	9,455	9,452	9,596	合計	9,451,836 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金	5,462,400 円		
		一般財源	9,586	9,455	9,452	9,596	報償費	675,900 円		
	職員人件費 ②		0	7,248	7,896	8,242	旅費	6,640 円		
	総事業費(①+②)		9,586	16,703	17,348	17,838	需用費	189,262 円		
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			外国人相談事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹	
2	1	15					作成者	杉山 能啓	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	市民生活						
		施策の内容	市民相談の充実						
	目的	在住外国人の生活相談及び生活問題に対応するため、外国人相談員の常駐化及び窓口における諸手続きの通訳業務の充実を図る。			主たる内容	○ポルトガル語（月17日） 2人 ○タガログ語（毎週月・水・金曜日） 1人 ○中国語（毎週火・水・木曜日） 1人			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	平成13年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		・外国人相談員数 2人 ・相談件数 5,434件		・外国人相談員数 2人 ・相談件数 3,797件		・外国人相談員数 4人 ・相談件数 4,013件		・外国人相談員数 4人	
成果 (できたこと)		外国人相談員の増員により外国人相談サービスの充実が図れた。 (平成23年4月よりタガログ語の外国人相談員を増員し、10月より中国語の外国人相談員を増員した。)							
課題 (できなかったこと)		中国語通訳の潜在的需要を満たすための周知が今後の課題。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標	外国人相談員数（人）			2	2	4	4	4	
成果指標	外国人相談員の対応満足度（%）			-	-	-	100.0	100.0	
	他市との比較検証								
C 事業コスト V	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		6,493	6,408	7,554	9,284	合計		7,554,225 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	貸金		7,554,225 円
		一般財源	6,493	6,408	7,554	9,284			
	職員人件費 ②		0	3,987	4,666	4,870			
	総事業費 (①+②)		6,493	10,395	12,220	14,154			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			消費者生活対策事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹		
2	1	15					作成者	杉山 能啓		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	市民生活							
		施策の内容	消費者の保護・育成							
	目的	消費者保護のため。				主たる内容	各種講座の開催、消費者団体の育成			
		位置づけ								
	関連計画									
	根拠法令	消費者保護基本法								
	対象者	市民及びかりや消費者生活学校			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
・年4回の消費生活講座の開催 参加者 175人 ・消費者団体の支援		・年4回の消費生活講座の開催 参加者 178人 ・消費者団体の支援		・年4回の消費生活講座の開催 参加者 200人 ・消費者団体の支援		・年5回の消費生活講座の開催 参加者 250人 ・消費者団体の支援				
成果 (できたこと)		消費生活講座の受講者数を前年比22人の増加をさせることができた。								
課題 (できなかったこと)		今後も消費生活講座の受講者数を増加させるための講座内容等を検討する。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動 指標		消費生活講座開催回数(回)			4	4	4	5	5	
成果 指標		振り込め詐欺や悪質商法などに気をつけている市民の割合(%)			-	94.4	-	95.0	96.0	
他市との 比較検証										
C 事業 コスト		単位:千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		596	493	451	543	合計		451,013 円	
	財 源	特定財源	89	89	86	86	旅費	6,640 円		
		一般財源	507	404	365	457	需用費	69,845 円		
	職員人件費 ②		0	3,262	3,230	3,372	委託料	79,608 円		
	総事業費(①+②)		596	3,755	3,681	3,915	使用料及び賃借料	95,200 円		
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0		市町村権限移譲交付金(県)						
25年度以降の事業費見込		0								

会計名		人権擁護対策事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民安全課		
款	項					目	課等長名	塚本 秀樹	
2	1					15	作成者	神谷 知行	
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	市民生活						
		施策の内容	市民相談の充実						
	目的	国民の基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図る。		主たる内容	人権擁護のための各種事業を行う。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	人権擁護委員法						
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		6/1人権擁護委員の日特設相談 8月刈谷わんさか祭り啓発 11月～12月人権紙芝居の実施(市内10保育園) 12月人権週間特設相談及び店頭啓発 ※心配ごと相談		6/1人権擁護委員の日特設相談 8月刈谷わんさか祭り啓発 11月～12月人権紙芝居の実施(市内10保育園) 12月人権週間特設相談及び店頭啓発 ※心配ごと相談		6/1人権擁護委員の日特設相談 8月刈谷わんさか祭り啓発 11月～2月人権紙芝居の実施(市内10保育園及び市内16幼稚園) 12月人権週間特設相談及び店頭啓発 ※心配ごと相談		6/1人権擁護委員の日特設相談 8月刈谷わんさか祭り啓発 11月～2月人権紙芝居の実施(市内10保育園及び市内16幼稚園) 12月人権週間特設相談及び店頭啓発	
成果(できたこと)		自由人権思想の普及高揚に努めることができた。							
課題(できなかったこと)		現在就学児童(5歳児)への啓発活動を中心に行っておりますが、一般的に人権擁護委員という認知度が低くより人権擁護委員の認知度を高めていくことが課題となる。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		人権擁護委員数(人)		8	8	10	10	10	
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位:千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
	事業費①		356	376	405	417	合計	404,760円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	250,000円	
		一般財源	356	376	405	417	旅費	1,660円	
	職員人件費②		0	2,175	2,871	2,997	需用費	32,000円	
	総事業費(①+②)		356	2,551	3,276	3,414	負担金、補助及び交付金	121,100円	
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			消費者行政活性化事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹		
2	1	15					作成者	杉山 能啓		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	市民生活							
		施策の内容	情報提供の充実							
	目的	消費者の保護の充実を図るため。			主たる内容	消費者からの相談対応の充実を図るため、記録及び情報を得る。消費者の被害防止のために、講座等の教材圖書の購入・パンフレットの作成及び啓発物品の作成を行う。				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令	消費者安全法・消費者活性化事業運営要領						
		対象者	市民		事業期間	平成21年度 ~ 平成24年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 消費生活講座受講の際に資料の配布（暮らしの豆知識） 消費生活相談員の情報収集及び記録用として、パソコンの購入 		<ul style="list-style-type: none"> 消費生活講座受講の際に資料の配布（暮らしの豆知識） 市内4市民センターにパンフレット3種類及び啓発物品を配置し、相談窓口の周知を図る 消費生活相談員の資質向上のため、研修参加旅費の支援 		<ul style="list-style-type: none"> 消費生活講座受講の際に資料の配布（暮らしの豆知識） 市内4市民センターにパンフレットを配置し、相談窓口のPRをする 消費生活相談員の資質向上のため、研修参加旅費の支援 		<ul style="list-style-type: none"> 消費生活講座受講の際に資料の配布（暮らしの豆知識） 相談窓口を記載した啓発物等を全戸配布し、相談窓口のPRをする 消費生活相談員の資質向上のため、研修参加旅費の支援 		
成果 (できたこと)		相談窓口の周知や相談員の研修参加により、多くの相談者の保護や相談員の資質向上を図ることができた。								
課題 (できなかったこと)		相談窓口の周知により、更なる相談者の向上。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
成果指標		振り込み詐欺や悪質商法などに気をつけている市民の割合（％）			-	94.4	-	95.0		
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		325	654	360	4,973	合計		360,155 円	
	財源	特定財源	325	654	360	4,973	旅費		8,300 円	
		一般財源	0	0	0	0	需用費		351,855 円	
	職員人件費 ②		0	725	718	749				
	総事業費 (①+②)		325	1,379	1,078	5,722				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0		消費者行政活性化基金事業費補助金（県）						
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			地域防犯活動推進事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹		
2	1	15					作成者	岡田 真茂		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防犯・交通安全							
		施策の内容	地域の安全活動の推進							
	目的	地域防犯活動の支援をすることにより、自主防犯活動の充実や、防犯意識の高揚を図り犯罪の少ない安全・安心なまちづくりを実現する。			主たる内容	自治会が実施する防犯意識の啓発活動や自主防犯活動に対し、地域防犯活動推進事業補助金を交付する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市地域防犯活動推進事業補助金交付要綱							
		対象者	自治会		事業期間	平成16年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		22地区への補助金の交付		22地区への補助金の交付		22地区への補助金の交付		22地区への補助金の交付		
成果 (できたこと)		自主防犯活動により、犯罪発生件数（刑法犯）が平成22年は2,686件だったが、平成23年は2,434件と9%減少した。								
課題 (できなかったこと)		自主防犯活動を充実させるために、各地区で意見交換を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
成果 指標		刑法犯罪件数（件）			3,489	2,686	2,434	2,200	2,000	
成果 指標		犯罪や事故への不安がなく安心して外出できると思う市民の割合（%）			-	49.7	-	52.0	54.0	
他市との 比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		1,628	1,632	2,080	2,104	合計 2,080,000 円			
	財 源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 2,080,000 円			
		一般財源	1,628	1,632	2,080	2,104				
	職員人件費 ②		0	1,087	790	824				
	総事業費 (①+②)		1,628	2,719	2,870	2,928				
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			防犯灯管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹		
2	1	15					作成者	岡田 真茂		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防犯・交通安全							
		施策の内容	地域の安全性の強化							
	目的	設置した防犯灯の維持管理することにより、刈谷市内の街頭犯罪の抑止を図る。			主たる内容	防犯灯管理に係る修繕及び電気料				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市民			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
電気料		19,488千円	電気料	19,121千円	電気料	22,019千円	電気料	21,373千円		
修繕料		12,043千円	修繕料	13,593千円	修繕料	18,388千円	修繕料	10,297千円		
成果 (できたこと)		防犯灯の適正管理をおこなった。								
課題 (できなかったこと)		修繕依頼が年間約2,700件あり、業者への修繕依頼に係る事務量が多い。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		防犯灯設置累計数(基)			7,705	7,754	7,791	7,841	7,941	
成果指標		街頭犯罪の件数(件)			1,789	1,188	1,044	1,000	1,000	
他市との比較検証		刈谷市	人口145千人	面積50km ²	防犯灯7,705灯					
	碧南市	人口74千人	面積36km ²	防犯灯2,734灯						
	安城市	人口178千人	面積86km ²	防犯灯5,696灯						
	知立市	人口69千人	面積16km ²	防犯灯3,750灯						
C 事業コスト	単位:千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳			
	事業費①		31,531	32,715	36,318	31,670	合計	36,318,447円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	36,318,447円		
		一般財源	31,531	32,715	36,318	31,670				
	職員人件費②		0	1,812	431	450				
	総事業費(①+②)		31,531	34,527	36,749	32,120				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名		防犯灯設置事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民安全課		
款	項					目	課等長名	塚本 秀樹	
2	1					15	作成者	岡田 真茂	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	防犯灯を設置することにより、刈谷市内の街頭犯罪等の抑止を図る。		主たる内容	地区から要望があった箇所及び市内各地の犯罪発生度の高い箇所に防犯灯を設置する。				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		防犯灯の設置 68灯 累計 7,705灯		防犯灯の設置 49灯 累計 7,754灯		防犯灯の設置 37灯 累計 7,791灯		防犯灯の設置 50灯 累計 7,841灯	
成果 (できたこと)		・第6次総合計画で平成24年度に目標値8,500灯 平成23年度末7,791灯 達成率91% ・街頭犯罪（ひったくり、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、部品ねらい、車上ねらい、自販機ねらい、恐喝）が、平成21年は1,789件であったが、平成22年は1,188件と33%減少した。 ・維持管理費及び消費電力の低減のため、LED防犯灯を導入した。							
課題 (できなかったこと)		・防犯灯の設置灯数と犯罪発生率の相関が短期間では取り難い ・防犯灯の設置増加に伴い維持管理費（電気料・修繕料）が増え続けている							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		防犯灯設置累計数（基）			7,705	7,754	7,791	7,841	7,941
成果指標		街頭犯罪件数（件）			1,789	1,188	1,044	1,000	1,000
他市との比較検証		刈谷市	人口145千人	面積50km ²	防犯灯7,705灯				
		碧南市	人口74千人	面積36km ²	防犯灯2,734灯				
	安城市	人口178千人	面積86km ²	防犯灯5,696灯					
	知立市	人口69千人	面積16km ²	防犯灯3,750灯					
C 事業コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		1,513	1,652	1,045	1,500	合計	1,044,540 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	1,044,540 円	
		一般財源	1,513	1,652	1,045	1,500			
	職員人件費 ②		0	1,087	790	824			
	総事業費 (①+②)		1,513	2,739	1,835	2,324			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			地域防犯夜間巡回委託事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹	
2	1	15					作成者	岡田 真茂	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	侵入盗や自動車部品盗の犯罪発生を抑止するため、県の緊急雇用創出事業を活用して市内全域を夜間巡回する。		主たる内容	自主防犯活動が困難な夜間（22時から翌朝4時）の時間帯に、警備員により青色回転灯を搭載した車両を巡回させる。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民	事業期間	平成22年度 ~					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
				夜間巡回（毎日3組）		夜間巡回（毎日3組）		夜間巡回（毎日2組）	
成果 (できたこと)		住民の目が行き届きにくい夜間に、青色回転灯を装備した車両で巡回することにより、犯罪発生抑制を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)		地域住民、警察と連携することで、更なる犯罪発生抑制を図る。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		街頭犯罪の件数（件）		1,789	1,188	1,044	1,000	1,000	
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	10,950	16,724	16,884	合計	16,723,980 円	
	財源	特定財源	0	10,950	16,724	16,884	委託料	16,723,980 円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		0	725	790	824			
	総事業費 (①+②)		0	11,675	17,514	17,708			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		緊急雇用創出事業基金事業費補助金					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			町名表示板設置管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹	
2	1	15					作成者	岡田 真茂	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全活動の推進						
	目的	町名表示板の管理をおこなうことにより、町名を明らかにし、住所探索の利便性の向上を図る。			主たる内容	町名表示板修繕			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民			事業期間	~			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
取替		片面用 6箇所 両面用 24箇所	撤去	片面用 2箇所 両面用 6箇所	取替	片面用 23箇所 両面用 5箇所	取替	片面用 12箇所 両面用 9箇所	
			移設	片面用 6箇所	撤去	片面用 6箇所			
成果 (できたこと)		劣化したものの撤去及び電柱移設にかかる町名表示板の移設をおこなった。							
課題 (できなかったこと)		町名表示板の老朽化により、年間20枚を交換。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		取替等箇所数(箇所)			30	14	34	21	20
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		273	0	277	325	合計	277,200円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	277,200円	
		一般財源	273	0	277	325			
	職員人件費②		0	725	790	824			
	総事業費(①+②)		273	725	1,067	1,149			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			放置自転車等整理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹	
2	1	16					作成者	岡田 真茂	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	道路等に放置されている自転車等を撤去し、通行の安全と良好な都市環境を確保する。また、駐輪場における自転車の整理や駐輪指導により、駐輪環境の保全を図る。	主たる内容	駐輪場内の整理指導委託 放置自転車等の撤去委託 返還作業の委託 自転車整理指導委託 放置自転車移動委託					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民	事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		撤去台数	831台	撤去台数	1,196台	撤去台数	1,190台	撤去台数	1,000台
返還台数		94台	返還台数	86台	返還台数	115台	返還台数	100台	
成果 (できたこと)		駐輪場を整理することで駐輪場の美化と効率的な駐輪場の利用を促進できた。また、放置自転車撤去により都市環境美化が図れた。							
課題 (できなかったこと)		放置自転車の移動、返還、処分を行う。年間約1,000件以上の処理を行う。エコ意識や健康志向の高まりによる自転車利用者増加に伴い、放置自転車件数の増加も予想される。所有者の所在が不明であったり、引き取りを拒否する等、返還台数が減少している。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		撤去台数における返還台数の割合(%)		11.31	7.19	9.6	10.0	10.0	
成果指標		放置自転車の撤去台数(台)		831	1,196	1,190	1,000	1,000	
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		25,174	25,579	25,407	29,827	合計	25,406,768 円	
	財源	特定財源	88	71	100	110	需用費	158,592 円	
		一般財源	25,086	25,508	25,307	29,717	役務費	22,760 円	
	職員人件費②		0	1,812	790	824	委託料	25,225,416 円	
	総事業費(①+②)		25,174	27,391	26,197	30,651			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		放置自転車移動費収入					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名		交通安全施設等管理システム事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民安全課		
款	項					目	課等長名	塚本 秀樹	
2	1					16	作成者	岡田 真茂	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	交通安全施設や防犯灯の現地調査及びデータ入力を行うことで、市民ニーズへの対応と設備修理等の即応性を図り、的確な管理に努める。			主たる内容	交通安全施設・防犯灯管理システムのデータ更新（写真等の入れ替え）等の保守管理及び住宅地図の入れ替え			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		システムの更新 システムの保守管理		システムの更新 システムの保守管理		システムの更新 システムの保守管理		システムの更新 システムの保守管理	
成果 (できたこと)		交通安全管理システムを活用することで、交通安全施設や防犯灯の設置、修繕に対して、市民からの通報、業者への依頼を迅速におこなうことができた。							
課題 (できなかったこと)		電柱等の管理していない物件の更新が難しいこと。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		データ更新件数（件）			986	289	302	450	550
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		1,441	1,452	1,452	1,461	合計	1,451,604 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,375,500 円	
		一般財源	1,441	1,452	1,452	1,461	使用料及び賃借料	76,104 円	
	職員人件費 ②		0	1,812	431	450			
	総事業費 (①+②)		1,441	3,264	1,883	1,911			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名		交通安全啓発事業				担当部	市民活動部			
一般会計						担当課	市民安全課			
款	項					目	課等長名	塚本 秀樹		
2	1					16	作成者	阿知波 大宜		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防犯・交通安全							
		施策の内容	防犯・交通安全意識の高揚							
	目的	市民参加型の交通安全啓発活動を企画し、実施することで参加者やドライバー等の交通安全意識高揚を図り、市内の交通事故、とりわけ交通死亡事故ゼロを目指す。	主たる内容	○交通安全啓発活動の実施 ・交通安全市民運動の実施 (4月、7月、9月、12月それぞれ10日間) 啓発品の企画、購入 ・セスナ機空中広報の実施 ○交通安全作品展の開催 ○交通安全ビデオ、DVDの貸出し						
	位置づけ	関連計画		第9次刈谷市交通安全計画						
		根拠法令		刈谷市交通安全条例						
		対象者	市民、市内在勤者、市内通学者		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		・交通安全市民運動の実施 ・交通安全作品展の開催 ・交通安全啓発活動の実施 ・運転免許自主返納支援事業の開始		・交通安全市民運動の実施 ・交通安全作品展の開催 ・交通安全啓発活動の実施 ・運転免許自主返納支援事業		・交通安全市民運動の実施 ・交通安全作品展の開催 ・交通安全啓発活動の実施 ・運転免許自主返納支援事業		・交通安全市民運動の実施 ・交通安全作品展の開催 ・交通安全啓発活動の実施 ・運転免許自主返納支援事業		
成果 (できたこと)		家庭、地域、職域、教育関係機関の交通安全意識が高揚し、平成21年中、平成22年中、平成23年中には刈谷警察署管内の過去10年間の交通事故死者数の平均(6.9人)を大きく下回ることができた。								
課題 (できなかったこと)		交通安全市民運動期間中に実施する啓発活動では、交通安全の語呂合わせによる啓発品(生活必需品)を考案し、啓発活動の話題性や交通安全意識高揚を図っているが、惰性的になりつつあるため、より話題性のある啓発活動を企画実施する必要がある。また、市民以外の方で市内に在勤通学の方が市内で交通事故を起こした場合も刈谷市の交通事故統計に計上されるため、近隣市や各自自治体との連携を図りながら啓発活動を推進していく必要がある。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
成果指標		人口1,000人当たり人身事故数(件) ()内は県平均		6.8	7.3(6.9)	7.2(6.7)	県平均以下		県平均以下	
成果指標		交通事故死者数(人)		1	2	3	0	0		
他市との比較検証		(人口1,000人当たりの人身事故発生件数)								
		県平均	平成21年 6.9件	平成22年 6.9件	平成23年 6.7件	知立市	平成21年 5.9件	平成22年 6.3件	平成23年 5.7件	
	安城市	6.9件	7.4件	6.9件						
C 事業コスト	単位:千円	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳				
	事業費①	3,266	4,273	3,687	3,144	合計	3,686,816円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	1,020,329円		
		一般財源	3,266	4,273	3,687	3,144	需用費	2,208,057円		
		職員人件費②	0	1,087	1,795	2,997	役務費	252,000円		
		総事業費(①+②)	3,266	5,360	5,482	6,141	使用料及び賃借料	32,550円		
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名		イエローストップ運動推進事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民安全課		
款	項					目	課等長名	塚本 秀樹	
2	1					16	作成者	阿知波 大宜	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	防犯・交通安全意識の高揚						
	目的	「一人ひとりが思いやり運転を実践すること」を理念として掲げるイエローストップ運動を展開し、交通死亡事故ゼロを目指す。	主たる内容	・啓発用消耗品費					
	位置づけ	関連計画	第9次刈谷市交通安全計画						
		根拠法令							
		対象者	市民、市内在勤者、市内通学者	事業期間	平成12年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		・交通安全啓発物の購入		・交通安全啓発物の購入		・交通安全啓発物の購入		・交通安全啓発物の購入	
成果 (できたこと)		イエローストップの標語がデザインされたBOXティッシュを2,158個作成し、「イエローストップ運動」を約2,000人に広報することができた。							
課題 (できなかったこと)		警察や地域住民、企業等と連携し「イエローストップ運動」の理念の浸透を図り、交差点付近等の人身事故件数の抑止をさらに推進していく必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動 指標		交差点付近等の人身事故発生件数(件)			586	693	636	600	600
成果 指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト 建設 事業		単位:千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		270	476	270	499	合計	269,642 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	需用費	269,642 円	
		一般財源	270	476	270	499			
	職員人件費 ②		0	1,087	1,077	824			
	総事業費(①+②)		270	1,563	1,347	1,323			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			担当部	市民活動部
一般会計			担当課	市民安全課
款	項	目	課等長名	塚本 秀樹
2	1	16	作成者	阿知波 大宜

自転車大会開催事業

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全		
		基本施策	防犯・交通安全		
		施策の内容	防犯・交通安全意識の高揚		
	目的	競技（実技走行と学科）を通じて参加者の交通ルール・マナーに対する関心を高めさせるとともに、自転車の安全な正しい乗り方の知識と技能の習得を図り、自転車の交通事故を防止する。	主たる内容	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全子ども自転車大会を開催 交通安全高齢者自転車愛知県大会の予選会の開催 大会出場報償費 交通安全ブック購入費 自転車修繕 会場借上料 	
	位置づけ	関連計画			
		根拠法令			
	対象者	学童、高齢者	事業期間	～	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他			

21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
・第37回刈谷市交通安全子ども自転車大会の開催 優勝 双葉小学校 ・第44回交通安全子ども自転車愛知県大会への参加 第4位 小垣江小学校 ・第6回交通安全高齢者自転車愛知県大会への参加 （築地老人クラブ一味会） 団体の部 第6位		・第38回刈谷市交通安全子ども自転車大会の開催 優勝 小垣江小学校 ・第45回交通安全子ども自転車愛知県大会への参加 第3位 小垣江小学校 ・第7回交通安全高齢者自転車愛知県大会への参加 （築地老人クラブ一味会） 団体の部 第6位		・第39回刈谷市交通安全子ども自転車大会の開催 優勝 小垣江小学校 ・第46回交通安全子ども自転車愛知県大会への参加 準優勝 小垣江小学校 ・第8回交通安全高齢者自転車愛知県大会への参加 （半城土鶴亀会） 団体の部 第4位		・第40回刈谷市交通安全子ども自転車大会の開催 ・第47回交通安全子ども自転車愛知県大会への参加 ・第9回交通安全高齢者自転車愛知県大会への参加		
成果 (できたこと)	第46回交通安全子ども自転車愛知県大会では、団体の部において小垣江小学校が準優勝、双葉小学校が第4位、亀城小学校が第6位、と入賞を果たすとともに、個人の部においても4人が入賞を果たし、自転車の正しい安全な乗り方及び交通ルールの習得をすることができた。また、第7回交通安全高齢者自転車愛知県大会では、半城土鶴亀会が48チーム中第4位の成績を収め、高齢者においても自転車の正しい安全な乗り方及び交通ルールの習得を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)	刈谷市交通安全子ども自転車大会の参加校及び参加者数を増やすことで、学童の交通安全意識高揚を図るとともに自転車の正しい安全な乗り方及び交通ルールの習得を図ることにより、とりわけ学童の自転車事故防止を推進する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
活動指標	子どもの死傷者数（人）			93	111	128	110	100
成果指標	高齢者の死傷者数（人）			112	132	122	110	100
他市との比較検証								

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
財源	事業費 ①	165	243	716	367	合計	716,488 円
	特定財源	0	0	500	0	報償費	108,141 円
	一般財源	165	243	216	367	需用費	65,597 円
						使用料及び賃借料	50,300 円
職員人件費 ②		0	1,087	1,795	824	備品購入費	492,450 円
総事業費 (①+②)		165	1,330	2,511	1,191		
建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称		
	23年度迄の累積事業費		0		交通安全対策事業費寄付金		
	25年度以降の事業費見込		0				

会計名		交通安全教室開催事業				担当部	市民活動部			
一般会計						担当課	市民安全課			
款	項					目	課等長名	塚本 秀樹		
2	1					16	作成者	阿知波 大宜		
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防犯・交通安全							
		施策の内容	地域の安全活動の推進							
	目的	各種交通安全教室を開催し、交通ルール・マナーを指導し、交通事故を防止する。 各種交通安全教室の開催		主たる内容	・交通安全テキスト代 ・交通安全教室用ビデオ・DVD購入費					
	位置づけ	関連計画	第9次刈谷市交通安全計画							
		根拠法令								
		対象者	幼児、児童、高齢者		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		・5歳児交通安全教室の開催 ・4歳児交通安全教室の開催 ・5歳児（入学前）交通安全教室の開催 ・自転車の正しい安全な乗り方教室の開催 ・交通安全教育用ビデオの購入（計3本）		・5歳児交通安全教室の開催 ・4歳児交通安全教室の開催 ・5歳児（入学前）交通安全教室の開催 ・自転車の正しい安全な乗り方教室の開催 ・交通安全教育用ビデオ、DVDの購入（計3本）		・5歳児交通安全教室の開催 ・4歳児交通安全教室の開催 ・5歳児（入学前）交通安全教室の開催 ・自転車の正しい安全な乗り方教室の開催 ・交通安全教育用DVDの購入（計3本）		・5歳児交通安全教室の開催 ・4歳児交通安全教室の開催 ・5歳児（入学前）交通安全教室の開催 ・自転車の正しい安全な乗り方教室の開催 ・交通安全教育用DVDの購入（計3本）		
成果 (できたこと)		幼児対象の交通安全教室を90回（約4,000人）、児童及び生徒対象の交通安全教室を53回（約2,000人）、高齢者対象の交通安全教室を12回（約500人）開催した。								
課題 (できなかったこと)		交通安全教室受講者の効果測定等、継続的な交通安全教育を推進する必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
活動指標	子どもの死傷者数（人）		93	111	128	110	100			
成果指標	高齢者の死傷者数（人）		112	132	122	110	100			
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳			
	事業費 ①		923	914	1,541	861	合計 1,540,705 円			
	財源	特定財源	0	0	1,000	0	需用費 570,925 円			
		一般財源	923	914	541	861	備品購入費 969,780 円			
	職員人件費 ②		0	1,087	1,795	1,573				
	総事業費 (①+②)		923	2,001	3,336	2,434				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0		交通安全対策事業費寄付金						
25年度以降の事業費見込		0								

会計名		交通指導員設置事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民安全課		
款	項					目	課等長名	塚本 秀樹	
2	1					16	作成者	阿知波 大宜	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	学童の通学時の交通指導	主たる内容	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員15人分の賃金 交通安全教育指導員1人分の賃金 制服等の貸与 備品の貸与と維持 講習会等参加のための旅費 					
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令	交通安全教育指導員設置要綱、交通指導員設置要綱					
		対象者	児童、市民	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 D 実績 O 実績 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 登下校時での指導 交通安全教室での指導 交通安全啓発活動への参加 制服等の貸与 自転車の貸与及び自転車の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 登下校時での指導 交通安全教室での指導 交通安全啓発活動への参加 制服等の貸与 自転車の貸与及び自転車の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 登下校時での指導 交通安全教室での指導 交通安全啓発活動への参加 制服等の貸与 自転車の貸与及び自転車の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 登下校時での指導 交通安全教室での指導 交通安全啓発活動への参加 制服等の貸与 自転車の貸与及び自転車の修繕 	
成果 (できたこと)		各小学校との連携を図り、児童の安全な登下校の確保に努めることができた。							
課題 (できなかったこと)		現在欠員の亀城小学校区交通指導員を早急に補充することが必要である。また、交通指導員設置要綱の見直しを検討し、柔軟な雇用体制の確立を検討する必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動 指標	交通指導員の人数(交通安全教育指導員含む) (人)		15	14	14	15	15		
成果 指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト V	単位:千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		17,769	17,709	18,096	20,153	合計	18,096,119 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	賃金	16,805,029 円	
		一般財源	17,769	17,709	18,096	20,153	旅費	3,320 円	
	職員人件費 ②		0	1,812	1,795	824	需用費	1,285,145 円	
	総事業費(①+②)		17,769	19,521	19,891	20,977	役務費	2,625 円	
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名		道路安全灯整備事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民安全課		
款	項					目	課等長名	塚本 秀樹	
2	1					16	作成者	岡田 真茂	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	横断歩道、交差点及びカーブ地点の交通事故の防止ため道路安全灯を設置する。	主たる内容	道路安全灯設置工事					
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民		事業期間	~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
道路安全灯設置 8基 設置累計 2,640基		道路安全灯設置 2基 設置累計 2,713基		道路安全灯設置 2基 設置累計 2,715基		道路安全灯設置 10基 設置累計 2,735基			
成果 (できたこと)		交差点、通学路に道路安全灯を設置することで、道路交通事故の防止を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)		照明器具以外の部分の管理							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		夜間の交通事故件数(件)			243	264	254	240	230
成果指標		道路安全灯設置累計数(所管替え含む)(基)			2,640	2,713	2,715	2,735	2,755
他市との比較検証									
C 事業コスト V		単位:千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
	事業費①		378	47	0	0	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	378	47	0	0			
	職員人件費②		0	725	790	824			
	総事業費(①+②)		378	772	790	824			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			道路反射鏡整備事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹		
2	1	16					作成者	阿知波 大宜		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防犯・交通安全							
		施策の内容	地域の安全性の強化							
	目的	道路反射鏡を設置することにより、交通事故の減少を目的とする。 見通しの悪い危険交差点及び交通事故多発交差点に道路反射鏡を設置し、事故防止に努める。			主たる内容	設置場所 ・信号機の無い見通しの悪い交差点(歩道を含む) ・T字路等交通事故発生の危険度の高い箇所 道路反射鏡40基設置工事費				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市民			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
道路反射鏡設置 35基 道路反射鏡累計 1,833基		道路反射鏡設置 26基 道路反射鏡累計 1,859基		道路反射鏡設置 31基 道路反射鏡累計 1,890基		道路反射鏡設置 40基 道路反射鏡累計 1,930基				
成果 (できたこと)		地区要望をうけて現場調査を行い、的確に道路反射鏡を設置することができた。								
課題 (できなかったこと)		道路反射鏡設置後の交通事故発生件数調査等の効果測定の実施を検討し、道路反射鏡の効果を検証する。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		道路反射鏡設置数(基)			35	26	31	40	40	
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位:千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		3,731	3,149	3,442	0	合計	3,442,425円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	3,442,425円		
		一般財源	3,731	3,149	3,442	0				
	職員人件費②		0	1,450	790	824				
	総事業費(①+②)		3,731	4,599	4,232	824				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			交差点等点減鉦整備事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹	
2	1	16					作成者	岡田 真茂	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	道路点減鉦を設置することにより、交通事故の減少に努める。交差点での出会い頭事故を防止するため、信号機のない裏道交差点及び事後発生危険度の高い場所に点減鉦を設置する。			主たる内容	道路点減鉦の設置工事 道路点減鉦の取替工事			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		点減鉦の設置 1基		実績なし		点減鉦の設置 2基		点減鉦の設置 2基	
成果 (できたこと)		交通事故発生交差点の調査をおこなった。							
課題 (できなかったこと)		長期使用した道路点減鉦の調査及び更新。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		交差点反射鉦設置総数(基)			1,296	1,296	1,296	1,296	1,296
成果指標		交差点点減鉦設置総数(基)			204	204	206	206	206
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位:千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
	事業費①		208	0	221	0	合計	220,500円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	220,500円	
		一般財源	208	0	221	0			
	職員人件費②		0	362	790	824			
	総事業費(①+②)		208	362	1,011	824			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			道路案内標識等整備事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹		
2	1	16					作成者	岡田 真茂		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防犯・交通安全							
		施策の内容	地域の安全性の強化							
	目的	信号機に地点名表示板を設置することにより、円滑な交通と事故の防止を図る。				主たる内容	地点名表示板の設置			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市民			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
設置、更新箇所 0箇所		設置箇所 1箇所 更新箇所 1箇所		更新箇所 2箇所		更新箇所 2箇所				
成果 (できたこと)		周辺施設名や町名にあわせた地点名表示板を設置することで、施設探索、町名探索の利便性の向上を図ることができた。								
課題 (できなかったこと)		道路管理者が異なる場合、設置時期の差異を短期間にする必要がある。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		地点名表示板の設置数(箇所)			223	223	223	223	223	
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		845	1,741	942	0	合計		941,955 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費		941,955 円	
		一般財源	845	1,741	942	0				
	職員人件費 ②		0	725	1,077	1,124				
	総事業費(①+②)		845	2,466	2,019	1,124				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
		23年度迄の累積事業費		0						
25年度以降の事業費見込		0								

会計名		地区駐車場設置補助事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民安全課		
款	項					目	課等長名	塚本 秀樹	
2	1					16	作成者	岡田 真茂	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	駐車場を確保することで違法駐車を減らし住みよい環境を形成する。 駐車場難地区を対象に地区駐車場を設置するための費用を補助し、違法駐車の防止に努める。	主たる内容	補助事業に係る経費の10分の8以内の額とし、500万円または設置する駐車場に駐車可能な台数に25万円を乗じて得た額のいずれか少ない額を補助する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		なし		なし		なし		1箇所	
成果 (できたこと)		平成18年以降申請なし。							
課題 (できなかったこと)		事業の周知。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		補助申請件数(件)			0	0	0	1	1
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位:千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	0	5,000	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	5,000			
	職員人件費②		0	725	144	150			
	総事業費(①+②)		0	725	144	5,150			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			交通安全施設管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					課等長名	塚本 秀樹	
2	1	16					作成者	岡田 真茂	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	道路安全灯を始め、各種安全施設の万全な維持管理に努める。	主たる内容	道路安全灯管理に係る修繕及び電気料 道路反射鏡修繕					
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市民	事業期間	~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		電気料	33,649千円	電気料	32,461千円	電気料	36,394千円	電気料	36,625千円
修繕料		3,760千円	修繕料	5,465千円	修繕料	7,631千円	修繕料	6,900千円	
成果 (できたこと)		道路安全灯の球切れ等及び道路反射鏡の傾きの不具合や破損を発見し修繕した。							
課題 (できなかったこと)		今後は支柱の破損等による倒壊の危険度の調査をおこなう。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		道路安全灯管理数(所管替え含む)(基)		2,640	2,713	2,715	2,725	2,735	
成果指標		道路反射鏡管理数(基)		1,833	1,859	1,890	1,930	2,010	
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位:千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		37,553	38,079	39,038	43,803	合計	39,038,275円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	38,934,535円	
		一般財源	37,553	38,079	39,038	43,803	原材料費	103,740円	
	職員人件費②		0	2,175	1,149	1,199			
	総事業費(①+②)		37,553	40,254	40,187	45,002			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							